

青森県

就労支援事業者機構

AES NEWS No. 24

令和6年1月発行（第24号）
NPO法人青森県就労支援事業者機構
青森市長島1-3-28
更生保護施設プラザあすなろ内
TEL 017(763)0763 FAX 017(763)0764



ホゴちゃんねぶたデビュー (BBS大会・ねぶた・更生保護大会)

8月4日（金）、青森ねぶた祭りにおいてホゴちゃんねぶたを持ち、広報活動をしました。沿道の見学者たちに大好評でした。

続いて8月11日（金）東北管内地方別BBS会員研修会（青森市）、10月25日（水）第43回青森県更生保護大会（三沢市）でも活躍しました。



更生保護大会
でのホゴちゃん

第43回青森県更生保護大会 当機構会長表彰に松竹梅造園

10月25日（水）三沢市公会堂で顕彰式典が挙行されました。当機構会長賞は有限会社松竹梅造園 代表取締役 渡辺 精一様に授与を行いました。



有限会社松竹梅造園
代表取締役 渡辺精一様
(右端)

更生保護関係団体による更生保護事業運営のための熊本県視察研修

11月20日（月）、本県各更生保護関係団体の関係者18名が、熊本県更生保護関係団体との情報交換会、NPO法人オリーブの家事長長の講話、熊本刑務所見学、更生保護施設熊本自営会見学を行いました。



熊本県更生保護女性連盟江田宣子会長から頂いたくまもんのペットボトルキャップと滑らないコースター



熊本県更生保護関係団体情報交換会で挨拶する当機構の川嶋会長



熊本県更生保護関係団体情報交換会



研修参加者の皆さん（熊本刑務所前）



熊本刑務所で施設の説明を受ける



更生保護法人熊本自営会で説明を受ける



関東地方更生保護委員会と府中刑務所の視察研修

(報告者) NPO 法人 青森県就労支援事業者機構 理事 齋藤 史彦

【関東更生保護委員会】

県と市町村から更生保護事業の理解が得られにくい状況を転換し、協力を得られる体制づくりを提案

青森県就労支援事業者機構ではこれまで会長および役員が青森県外の更生保護関係者を訪ねてその取り組みの見学や、意見交換をする機会を設けています。

去る令和5年12月14日には関東更生保護委員会に松橋進一第四部長委員（元青森保護観察所所長）と府中刑務所に榎引唯一郎処遇部長（元青森刑務所所長）をお訪ねしてお話をうかがいました。

関東更生保護委員会はさいたま新都心合同庁舎2号館の21階にあります。松橋様からは他県の更生保護協会の取り組みを複数ご紹介いただき、①関東においても寄付が集まりにくいこと、②寄付が集まっている県はその地方の特色（大企業がある、大きな組織の宗教団体があるなど）を活かしていることなどをお話いただきました。また、青森県においては県と市町村から更生保護事業の理解が得られにくい状況を転換し、事業の必要性を理解いただいた上で、協力を得られる体制づくりをご提案いただきました。



関東更生保護委員会・松橋進一第四部長
(元青森保護観察所所長) (左から2人目)

【府中刑務所】

名古屋刑務所での事件が契機で「対話」を重視した取り組みが行われ、出所後も一層の変化が求められる

続いて伺った府中刑務所は収容定員数 2,668名、敷地面積は 262,187 m²で日本最大の刑務所です。主に B 指標男子受刑者と外国人男子受刑者を収容し、現在外国人の国籍数は 60 ヶ国以上、言語数は 50 以上とのことでした。榎引処遇部長に広い施設内をご案内いただき、府中刑務所の取り組みや処遇内容等をご紹介いただきました。所内では介護福祉士や作業療法士などの専門職が配置され、名古屋刑務所での事件を契機として、一部の受刑者と刑務官の間、刑務官や心理職等の各専門職が処遇について話し合いを行っているなど、「対話」を重視した取り組みが行われていたのが印象的でした。刑務所内の受刑者への対応が変化中、出所後の社会でも一層の変化が求められると感じます。



府中刑務所・榎引唯一郎処遇部長 (写真中央・元青森刑務所所長)

第73回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト (はまなす賞) に つがる市立木造中学校1年秋田谷さん



令和6年1月13日、青森市の県観光物産館アスパムで「第73回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が行われ、当機構会長賞（はまなす賞）に、つがる市立木造中学校1年秋田谷帆香さんの「明るい未来のために」が受賞されました。

ホームページアドレス
青森県更生保護ネットワーク



青森県更生保護 検索 <http://www.ao-kousei.com>
【お問い合わせ】メールアドレス npo@ao-kousei.com

AES